

〔梵舜日記〕慶長八年五月十九日、伏見城右府家康へ御見廻申入候、中略次禁中ヨリ匂袋五十勅使  
勸修寺宰相、廣橋大納言兩人也、

〔御湯殿の上の日記〕慶長八年六月廿三日、まん所妻豊臣秀吉へか。け。ぶ。く。ろ。参る、御つかゐ大御ち  
の人也、九年六月十一日、御せつけがたへ、御かけぶくろまいらるゝ、九條殿、このへ殿は、ひろは  
しべん、一でう殿、たかつかさ殿へは、とうの辨、二條殿、せうかうゐん殿へは、う大べん也、一でう院  
どの、りうさんへもまいらせらるゝ、くわほう院にも、御かけぶくろくださるゝ、十四日、玄やうぐ  
んへ、御かけぶくろ参る、御つかいいう大辨、